

平成二十八年七月の作品（七月八日（金））（第四十二回）

（於 文京区民センター 3階E会議室）

郭公の声の真近き書斎かな
（一江）

梅雨明けて糸満の海青さ増す
（隆治）

鰐口のひびき沁み入る夏木立
（清助）

生き返る水を与へて釣忍
（貴美）

幼児にそつと団扇の風送る
（太郎）

甲斐の国晴れて全山蟬の声
（前歩）

葛切の喉元滑る祇園かな
（正雄）

鉄塔のはるか彼方に夏の雲
（平六）

噴水に煌めく子らの素肌かな
（孝昭）

小遣ひを握りしめ行く夜店かな
（芙紗）